

留萌家畜衛生だより

(ホームページ) <http://www.rumoi.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/>

1. 定期報告の提出時期になりました
2. 高病原性インフルエンザ（HPAI）の発生状況について（国内）
3. 豚熱（CSF）の発生状況について（国内）
4. 越境性動物疾病（口蹄疫、アフリカ豚熱）の発生状況について
5. 第69回家畜保健衛生業績発表会について
6. 令和3年度 市場上場牛等のヨーネ病検査日程
7. 令和3年度 予防事業成績
8. 令和3年次 監視伝染病の発生状況(留萌、全道)
9. 消毒薬・消毒方法について
10. 生乳への抗菌性物質の残留事故防止について
11. 職員体制と連絡先

1 定期報告の提出時期になりました

家畜の所有者は、毎年（2月1日現在の）家畜の飼養状況等について、定期報告書により都道府県知事へ報告することとなっています。市町村ごとに定める提出期限を遵守し、市町村を通じて提出をお願いします。

対象：牛、水牛、馬、鹿、めん羊、山羊、豚、いのしし、鶏、あひる、うずら、きじ、ほろほろ鳥、七面鳥、だちょうを1頭羽以上飼養している方（ペット等である場合を含みます）

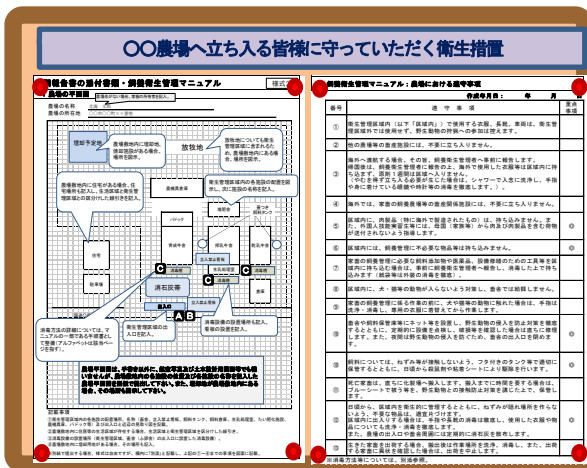
内容：2月1日時点の家畜飼養状況（※1）、飼養衛生管理者（※2）、衛生措置を図示した農場図面、飼養衛生管理マニュアル、消毒等の手順書、飼養衛生管理基準自己点検表等

※1 年間の飼養頭数が大幅に変動する場合は最大飼養頭羽数（夏季預託等）

※2 大規模農場は畜舎ごとの管理者（自由様式）、それ以外の農場は飼養衛生管理区域ごとの管理者

令和3年度に作成した農場図面や手順書を農場内に掲示等しましょう

農場図面、飼養衛生管理マニュアル、消毒等手順書は、農場内に掲示する等の方法で周知することにより、**農場に立ち入る方々**の着替え、清潔な手袋の着用、長靴の履き替えや消毒といった衛生措置を実行するように活用しましょう。



マニュアルは、農場の作業従事者及び外部事業者等が遵守するよう農場事務所等に掲示



手順書は、衛生管理区域や畜舎の出入口など、消毒等を実施すべき場所に掲示

2 高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生状況について（国内）

今シーズン家きんでは、令和3年（2021年）11月10日以降、9県13事例のHPAI発生がありました（令和4年1月14日時点）。疫学調査では、周辺に野鳥の集まる可能性がある水場や河川等が多く確認された農場だけではなく、山林に位置する農場での発生も確認されています。

野鳥からのウイルス分離陽性事例も相次ぎ、令和4年（2022年）1月2日に留萌管内苫前町で回収されたオジロワシ（衰弱個体1羽）からもHPAIウイルスが分離されました。

発生状況から、農場周囲・家きん舎のすぐ横にウイルスが迫っているという認識が必要と言えます。「予防対策の重要ポイント」を参考に、**飼養設備の再点検や補修、作業手順の再検討**をお願いします。また、引き続き、異状家きんの**早期発見・早期通報**に努めてください。

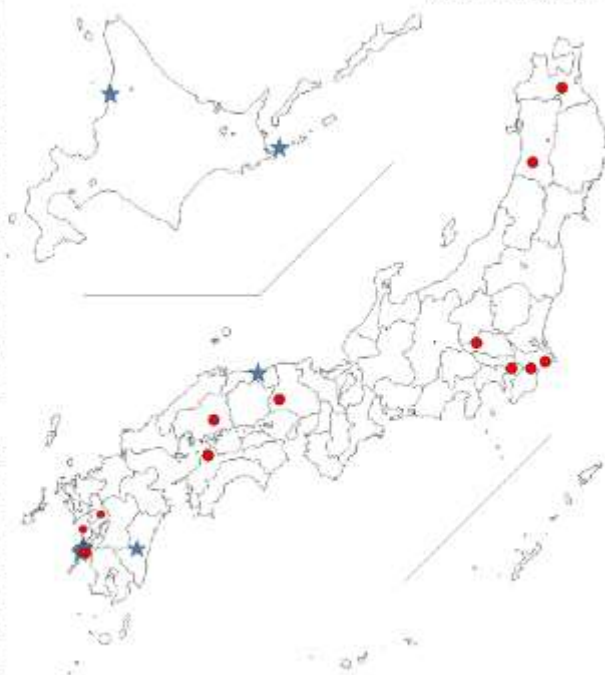
令和3年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

MAFF
農林水産省

○家きん 9県15事例 羽数の単位は万羽

(令和4年1月26日時点)

地域	発症事例数	用途	羽数	病原性*	畜種
1 秋田県横手市	11/10	採卵鶏	約14.3	HPAI	HSN8
2 鹿児島県出水市	11/12	採卵鶏	約3.8	HPAI	HSN1
3 鹿児島県出水市	11/15	採卵鶏	約1.1	HPAI	HSN8
4 兵庫県姫路市	11/17	採卵鶏	約15.5	HPAI	HSN1
5 熊本県南阿蘇市	12/3	肉用鶏	約2.7	HPAI	HSN1
6 千葉県市川市	12/3	あひる(アイワホ)	約0.02	HPAI	HSN1
7 埼玉県東武野呂町	12/7	採卵鶏	約1.7	HPAI	HSN1
8 広島県福山市	12/7	採卵鶏	約2.0	HPAI	HSN1
9 青森県三戸町	12/12	肉用鶏	約0.7	HPAI	HSN1
10 愛媛県西条市	12/21	採卵鶏	約1.3	HPAI	HSN1
11 愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約2.3	HPAI	HSN1
12 愛媛県西条市	1/4	採卵鶏	約14.2	HPAI	HSN1
12関連 愛媛県今治市	1/4	採卵鶏	約0.6	-	-
13 鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.4	HPAI	HSN1
13関連 鹿児島県長島町	1/13	肉用鶏	約5.7	-	-
14 千葉県八千代市	1/18	肉用鶏	約5.6	HPAI	HSN1
15 千葉県市川市	1/28	あひる	約0.19	遺伝子検査実施中	HS
15関連 千葉県市川市	1/28	あひる	約0.12	-	-
15関連 千葉県かずさ市	1/28	あひる	約0.11	-	-
15関連 埼玉県春日部市	1/28	あひる	約0.14	-	-
15関連 埼玉県羽咋市	1/28	あひる	約0.04	-	-



○野鳥 12事例 (HPAIに限る)

※詳細は環境省 <https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird/flu/>

種別/発生地	発症日	種名	病原性*	畜種
1 北海道旭川市	10/26	マガモ	LPAI	HSN3
2 鹿児島県出水市	11/8	環境試料(水)	HPAI	HS
3 鹿児島県出水市	11/9	糞便	HPAI	HSN1
4 鹿児島県出水市	11/18	ナベツル	HPAI	HSN8
5 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HPAI	HSN8
6 鹿児島県出水市	11/22	環境試料(水)	HPAI	HSN8
7 鹿児島県出水市	12/3	マガモ	ウイルス分離陽性	-
8 鹿児島県出水市	11/29	環境試料(水)	HPAI	HSN8
9 鹿児島県出水市	12/1	環境試料(水)	HPAI	HSN8
10 鹿児島県出水市	12/1	糞便	LPAI	H7N7
11 鹿児島県出水市	12/10	オナガガモ	ウイルス分離陽性	-
12 鹿児島県出水市	12/8	環境試料(水)	HPAI	HSN8
13 鹿児島県出水市	11/25	野鳥糞便	LPAI	H7N7
14 石川県内野町	12/3	野鳥糞便	LPAI	HSN3
15 鹿児島県出水市	12/20	環境試料(水)	HPAI	HSN1
16 北海道釧路市	1/2	オジロワシ	HPAI	HS
17 鹿児島県出水市	1/10	環境試料(水)	HPAI	HSN8
18 北海道釧路市	1/20	ハンソウカラス	HPAI	HS

※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ
■ 家きん
★ 野鳥 (HPAIに限る)
■ 環境試料はLPAIまたはウイルス分離陽性

予防対策の重要ポイント



3 豚熱（CSF）の発生状況について（国内）

平成30年（2018年）9月9日に国内で26年ぶりに発生した豚熱は、令和4年（2022年）1月15日時点で、76事例（防疫措置対象：136農場、5と畜場、約280,716頭）が発生しました。令和3年（2021年）1月から12月の1年間で15事例（62～76事例目）の発生があり、全事例がワクチン接種地域での発生でした。

ワクチン接種地域からワクチン接種地域外へ、飼養目的の豚や豚の精液等を持ち出すことはできませんので、必ず最新情報を確認するようお願いします。なお、ワクチンを接種している都府県は右のとおりです（令和4年1月15日時点、農林水産省ウェブサイト）。

豚熱ワクチンを接種している都府県			
群馬県	滋賀県	京都府	秋田県
埼玉県	静岡県	奈良県	鳥取県
富山県	山梨県	沖縄県	岡山県
石川県	茨城県	大阪府	岩手県
福井県	栃木県	兵庫県	青森県
長野県	千葉県	和歌山県	徳島県
岐阜県	東京都	福島県	香川県
愛知県	神奈川県	宮城県	愛媛県
三重県	新潟県	山形県	高知県

豚熱は、特徴的な症状が無く、気がつきにくい病気です。毎日の臨床症状の観察を確実に行ってください。引き続き、消毒等の「侵入防止対策」並びに早期発見・早期通報等の「まん延防止対策」の徹底をお願いします。

豚熱は特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異常を発見したら直ちに通報しましょう！！



耳翼の紫斑



元気がない




結膜炎

重症例は後躯麻痺・運動失調、四肢の激しい痙攣などの神経症状、皮膚出血による紫斑（耳翼、尾、腹部、内股部）を呈し死亡。


4 越境性動物疾病（口蹄疫、アフリカ豚熱）の発生状況について

(1) 口蹄疫（FMD）


口蹄疫（FMD）は、偶蹄類家畜（牛・豚・めん羊・山羊など）や野生動物（鹿等）が感染し、伝播力が非常に強い悪性の伝染病です。日本近郊では、ロシア、モンゴル、中国、韓国等、アジア各国の偶蹄類家畜（牛・豚・めん羊・山羊など）で継続して発生が確認され、直近では、令和3年（2021年）10月に中国でヤクのFMD（O型）発生が報告されています。



泡状のよだれ



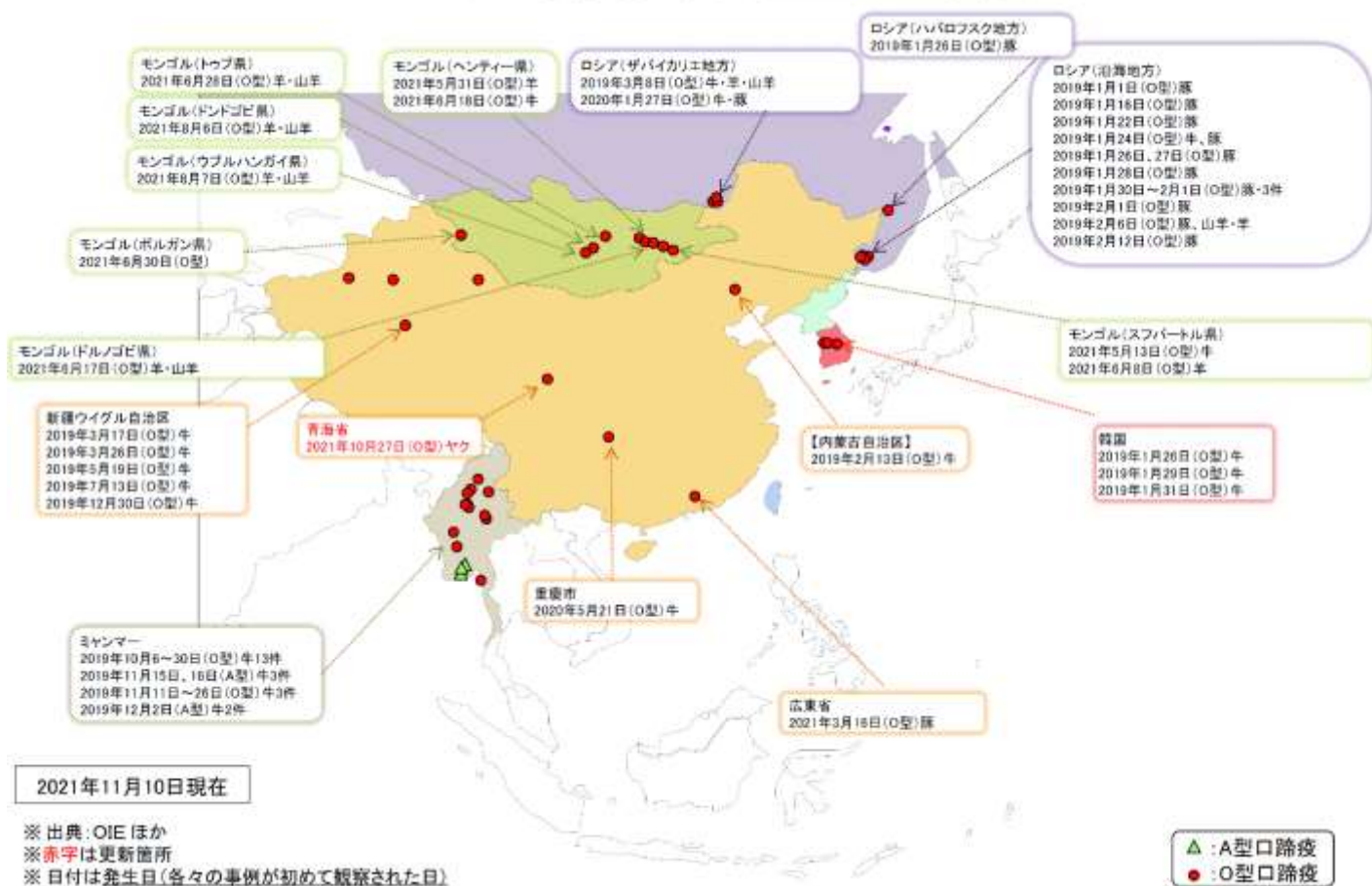
上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

FMDは牛や豚等で、複数頭に発熱、食欲不振、泡状のよだれ、口や蹄、乳房に水疱、びらん、潰瘍等が見られるのが特徴です。
複数の家畜で、発熱や食欲不振等が見られる場合、口の周りや蹄の間に水疱等がみられないか確認していただき、疑わしい症状が見られた場合は、直ちに家畜保健衛生所にご連絡ください。

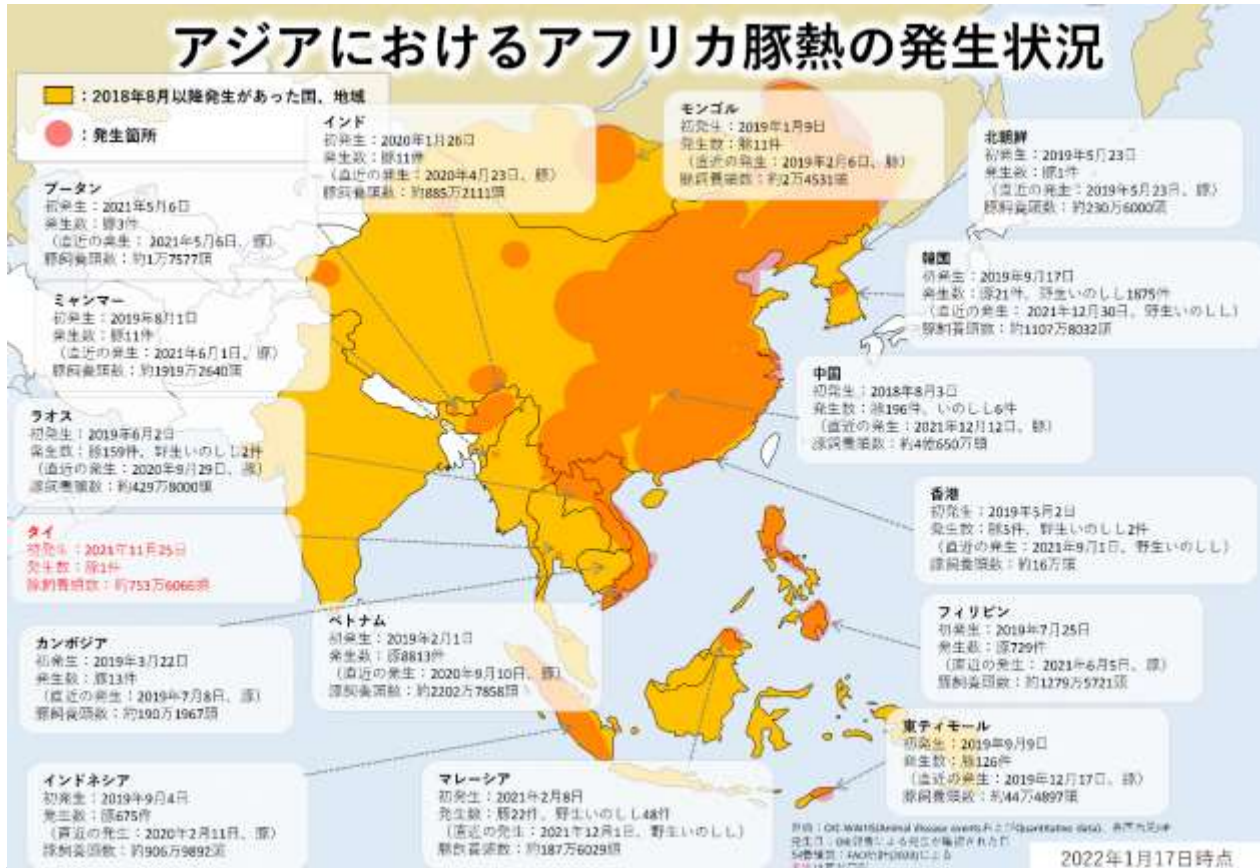
アジアにおける口蹄疫の発生状況（2019年1月以降の発生）



(2) アフリカ豚熱 (ASF)

アフリカ豚熱 (ASF) は、ASFウイルスが豚やいのししに感染する伝染病であり、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い疾病で、有効なワクチンや治療法はありません。ダニによる媒介、感染畜等との直接的な接触により伝播し、近年の感染拡大には人的要因 (汚染肉類や肉製品の運搬、残飯の処理など) が無視できないと指摘されています。

2018年8月にアジア地域で初めて中国でのASF発生が確認されて以降、急速にアジア諸国にまん延し、感染拡大が続いている状況です。また、日本近郊の中国では2021年12月、韓国では12月に継続して発生が確認され、人や物を介した日本への侵入リスクが一層高まっています。



【 海外からの肉類の持ち込みを未然に防ぎましょう 】

近年、海外からの渡航客が持ち込んだ携帯品 (食肉加工製品) からASFおよびHPA Iウイルスが検出される事例が多数あります。中国、ベトナム、フィリピン等から持ち込まれた携帯品 94 件からASFウイルス遺伝子を検出し、うち、2019年1月に中国から持ち込まれたソーセージ 2 件、2020年8月、12月にフィリピンから持ち込まれたソーセージ 2 件からASFウイルスが分離された事例が確認されています (2021年11月29日時点)。

研修生等が携帯品として農場内に肉類を持ち込むことや、国際郵便等で肉製品が送付されることのないよう、関係者の皆様には改めてご協力をお願いします。

海外からの肉製品の違法な持ち込みに対する対応を厳格化しています！

2020年7月1日から、輸入検査を受けずに畜産物を持ち込んだ場合には、**3年以下の懲役または300万円以下の罰金**が科せられます (法人の場合は、最高5,000万円)。

- 海外から肉製品等を持ち込まない、送らない、受け取らない
- 国際郵便等が届いたら肉製品等が入っていないことを確認
- 国際郵便に動物検疫所による「検疫済」「検査済」のスタンプが押印されていること確認
- 上記に違反していた場合、速やかに動物検疫所及び家畜保健衛生所に連絡

5 第 69 回家畜保健衛生業績発表会について

令和3年(2021年)10月27日に札幌市で第69回家畜保健衛生業績発表会が行われ、全道14の家畜保健衛生所から伝染病発生時の防疫対応や試験・調査から得られた知見について19題の発表がありました。当所からは、田村指導専門員が次の演題を発表し、令和4年7月に行われる北海道・東北ブロック発表演題として選出されました。本調査に御協力いただきました関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。

「Moraxella bovoculi の関与が疑われた公共牧場の角結膜炎流行と浸潤状況調査」

牛伝染性角結膜炎(ピンクアイ)は主病因としてMoraxella bovis (M. bovis)が知られていますが、2007年に新種として提唱されたMoraxella bovoculi (M. bovoculi)による角結膜炎の発生も報告されています。令和2年に管内の角結膜炎罹患牛からM. bovoculiが分離されたことから、平成30年頃から管内の一公共牧場で急増している角結膜炎発生に同菌の関与が疑われ、原因検索と多発の要因を調査しました。調査の結果、①原因検索ではM. bovoculiの検出率が最も高く、M. bovoculi感染事例では、M. bovisの単独感染事例よりも治療が長期化する傾向が確認されたことから、同菌が本牧場の角結膜炎流行に関与していると推察され、②多発要因の調査では、角結膜炎発生ピークの8月～9月にかけて、本牧場では、ハエ発生数と牛同士の接触機会が増加していることがわかりました。また、③入牧時の調査では複数戸の預託元農場で保菌牛が確認されました。このことから、退牧牛を介して預託元農場の牛群でM. bovoculiの感染が維持され、翌年、保菌牛が入牧したことが流行の一因と考えられ、ピンクアイ予防には冬季の飼養管理も重要であることが示唆されました。

6 令和3年度 市場上場牛等のヨ一ネ病検査実施日程

検査を申請される場合は、採血期間及び対象牛の月齢を確認の上、受付締切日(当所必着)までに検体を搬入してください。

南北海道肉牛市場 開催日	採血期間	受付締切日(当所必着)
令和4年(2022年) 3月2日(水)、3日(木)	2月7日(月)～15日(火)	2月15日(火)
4月 未定	3月7日(月)～15日(火)	3月15日(火)

☆ 検査対象 : 採血日において6か月齢以上の牛(必ず月齢をご確認ください)

☆ 必要書類 { (1) ヨ一ネ病抗体検査依頼書
(2) 病性検定診断申請書
(3) ヨ一ネ病自主検査料補助金交付申請書
(4) ヨ一ネ病自主検査牛採材証明書(検査材料の採材獣医師が交付する書類)

※(3)及び(4)は公益社団法人 北海道家畜畜産物衛生指導協会が行うヨ一ネ病自主検査料補助金交付事業を申請する場合に必要です。

7 令和3年度 予防事業成績

市町村	牛のヨーネ病検査							蜜蜂の腐蛆病	
	乳用繁殖牛				肉用繁殖牛			戸数	群数
	戸数	頭数	患畜		戸数	頭数	患畜		
戸数			頭数	戸数			頭数		
増毛町								2	107
苫前町	17	1,280						1	105
遠別町								1	10
初山別村					1	27			
天塩町								1	74
計	17	1,280			1	27		5	296



【牛のヨーネ病検査】令和3年5月に初山別村で肉用牛、11月に苫前町で乳用牛の検査を実施し、全頭陰性を確認しました。

【蜜蜂の腐蛆病検査】趣味等で蜜蜂を飼養する小規模飼養者を含めた全養蜂場について検査を実施し、全群陰性を確認しました。

関係機関の皆様の御協力により円滑に実施できましたことを心より御礼申し上げます。

8 令和3年次 監視伝染病の発生状況(留萌、全道)

令和3年12月末時点

区分	畜種	病名	留萌		北海道	
			戸数	頭羽群数	戸数	頭羽群数
法定伝染病	牛	ヨーネ病	5	39	210	845
	山羊		0	0	2	24
	あひる	高病原性鳥インフルエンザ(疑似患畜)	0	0	1	637
届出伝染病	牛	牛ウイルス性下痢 (真症)	7	15	53	144
		(疑症)	0	0	4	4
		牛伝染性リンパ腫 (旧牛白血病) (真症)	11	12	286	725
		(疑症)	0	0	4	4
		サルモネラ症 (真症)	0	0	45	199
		(疑症)	0	0	1	2
		破傷風	0	0	8	8
		牛伝染性鼻気管炎	0	0	4	17
		牛丘疹性口内炎	0	0	2	8
		ネオスポラ症 (真症)	0	0	3	4
	(疑症)	0	0	1	1	
	馬	馬鼻肺炎	0	0	14	18
		馬バラチフス	0	0	1	3
		破傷風 (疑症)	0	0	1	1
	鶏	低病原性ニューカッスル病	0	0	1	1
		サルモネラ症 (真症)	0	0	2	5
		(疑症)	0	0	1	1
	鳥伝染性気管支炎		0	0	1	5
			0	0	1	5
	豚	豚丹毒	0	0	6	132
サルモネラ症		0	0	2	2	
蜜蜂	バロア症	3	15	22	332	
	チヨーク病	3	17	18	61	

9 消毒薬・消毒方法について

【消毒薬の種類】

農場への病原体の侵入を防ぎ、大切な家畜を病気から守るために、消毒は大切な作業です。

消毒薬は、病原体や対象（物）によって効果のある消毒薬の種類が異なるため、有効な消毒薬を選択し、用法用量に従って使用しましょう。

効力水準区分	消毒薬の種類	細菌			真菌	ウイルス		コクシジウム	適用対象					有機物の影響	金属腐食性
		一般細菌 サルモネラ等	芽胞菌 炭疽菌等	抗酸菌 ヨーネ菌		エンベロープ※ 有	無		畜舎	器具	踏込槽	車両	畜体★		
低	逆性石けん (アストップ、クリアキル、パンボックス、パコマ等)	○	×	×	△	△	×	×	○	○	○	○	○	受	
中	アルコール類	○	×	△	△	○	×	×		○			車両内部		
	塩素系 クレンテ アンテックピルコンS等	○	△	○	○	○	○	×	○	○	○	○		受	強
	ヨード系 バイオシッド、PVPヨード液等	○	△	×	○	×	△	×	○	○	○		○	受	強
	オルソ剤 タナベゾール、トライキル等	○	×	○	○	△	×	○	○	○	○				
	消石灰	○	×	○	○	○	△	×	○		○	タイヤ			
高	過酢酸製剤	○	△	○	○	○	○	×	○	○	○	○			中
	アルデヒド系 グルタプラス、グルタクリン等	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○			

○：有効・有用、△：長時間・高濃度での作用が必要、または病原体の種類によっては無効とする報告がある、×：無効・有用ではない
有機物の影響：受＝受けやすい

★消毒薬によっては休薬期間があり、畜体に直接噴霧すると、定められた期間と畜場へ出荷できなくなるものがあります（例：パコマ2日間、アストップ5日間等）。また、畜体への直接噴霧を禁止している消毒薬もありますので、使用前に取扱説明書等で確認してください。

※エンベロープとは

ウイルスは、エンベロープと呼ばれる脂溶性の外膜（感染した宿主細胞由来）を持つものと持たないものがあり、エンベロープの有無が消毒薬感受性に大きく関与します。

消毒薬感受性：エンベロープ有 > 無

カプシド(タンパク質の殻)



エンベロープ

エンベロープウイルス

キコナウイルス、キウイルス性下痢ウイルス、牛RSウイルス、豚熱ウイルス、鳥インフルエンザウイルス等

ノンエンベロープウイルス

口蹄疫ウイルス、キアデノウイルス、キロタウイルス、豚サーコウイルス等

- 汚れ（有機物）をしっかりと落とし、消毒薬の接触時間をより長くすることで消毒効果は高くなります。
- 用法用量に従い、適切な濃度に希釈して使用しましょう（種類の違う消毒薬を混ぜると効果がなくなったり、有毒なガスが発生することもあります）。
- 消毒薬は扱いを間違えると危険ですので、調整時や使用時には、手袋やマスク、保護メガネなどを必ず着用し、安全な場所に保管してください。

計量の参考に・・・ キャップ1杯5ml

ペットボトルのキャップ1杯（一番上の線：黒い線部分）で5ml、満杯で約7ml

希釈倍率500倍の消毒薬：水5Lバケツ1杯+薬剤10ml（キャップ2杯）



10 生乳への抗菌性物質の残留事故防止について

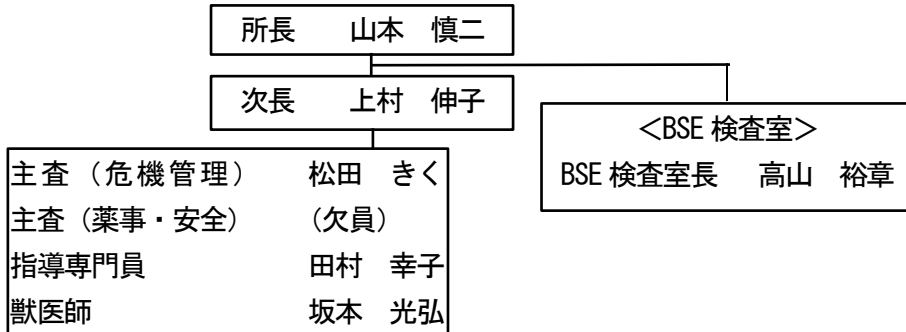
令和3年12月、留萌管内では2年ぶりとなる生乳への抗菌性物質残留事故が2件発生しました。次の残留防止対策を徹底して、消費者へ安心、安全な畜産物を届けましょう。

- ☆ **まずは確実に治療牛をマーキング**
投薬「前」にマーキング、パソコン入力
ロボット搾乳でもマーキングは必須（誤投薬防止）
- ☆ **治療牛は何度も確認して、見落としを防止**
マーキングは2種類以上、前搾りで最終チェック
ロボット搾乳は、入力データを複数人でチェック
- ☆ **搾乳者全員で事故防止**
ホワイトボード等を活用して情報を共有



11 職員体制と連絡先

令和3年度の職員体制



【 連絡先 】

北海道留萌家畜保健衛生所	TEL (01632) 5-1226 FAX (01632) 5-1165
北海道留萌家畜保健衛生所 B S E 検査室	TEL (01632) 9-3515 FAX (01632) 9-3711
緊急時の連絡先（所の携帯電話） （夜間、休日は留萌家畜保健衛生所の固定電話から転送）	090-9526-9640
Eメール	rumoi.rumoi-kaho1@pref.hokkaido.lg.jp